

臨床工学科 カリキュラムマップ

◎:直結する ○:関連する

教育内容	授業科目(全て必修)	時間数				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
		1学年	2学年	3学年	計						
基礎分野	科学的思考の基盤	物理学	30			30			◎		
		生物学	30			30	○		◎		
		化学	30			30			◎		
		基礎数学	30			30			◎		
	人間と生活	心理学			30	30		○		○	
		英語		30		30				○	
		コミュニケーション英語	30			30			◎	○	
		保健体育	60			60		○			
	社会の理解	医の倫理	15			15	◎			◎	
		社会とコミュニケーション	15			15				◎	
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ	60			60	◎		◎		
		解剖生理学Ⅱ	60			60	◎		◎		
		臨床生理学		30		30	◎		◎		
		基礎医学実習	45			45	◎		◎		
		臨床生化学		30		30	◎		◎		
	臨床工学に必要な医学的基礎	病理学		30		30	◎		◎		
		関係法規		15		15			◎	◎	
		公衆衛生学			15	15			◎		
		臨床免疫学		30		30	◎		◎		
		臨床薬理学		30		30	◎		◎		
		医学用語	30			30			◎		
		チーム医療概論	30			30		◎			
		臨床検査学			15	15	◎				
		在宅医療・地域包括ケア	15			15		◎			
	臨床工学に必要な理工学的基礎知識	応用数学	60			60			◎		
		基礎工学実習	90			90	◎		◎		
		電気工学Ⅰ	60			60	○		◎		
		電気工学Ⅱ			60	60			◎		
		電子工学Ⅰ	60			60	○		◎		
		電子工学Ⅱ			60	60			◎		
		理工学特論			90	90			◎		
		機械工学		60		60	○		◎		
		計測工学		60		60	○		◎		
		臨床工学に必要な医療情報とシステム工学	情報処理工学	30			30			◎	
			システム工学			30	30			◎	
	システム情報処理			30		30			◎	○	
	病院管理学		30			30		○	◎		
	専門科目分野	医用生体工学	生体物性工学		60	60			◎		
			医用材料工学	30			30			◎	
			画像診断装置学			30	30	◎		◎	
医工学治療学				60		60	◎		◎	◎	
医用生体工学総論					30	30		○	◎	○	
医用機器学			60			60	◎		◎		
医用治療機器学			60			60	◎		◎		
医用機器学実習					45	45	◎		◎		
生体計測装置学			60			60	◎		◎		
計測技術学			15			15	◎		◎		
生体機能代行技術学		臨床支援技術学Ⅰ	15			15	◎	◎	◎		
		臨床支援技術学Ⅱ		15		15	◎	◎	◎		
		呼吸療法装置学		90		90	◎	◎	◎		
		呼吸療法装置学実習		45		45	◎	◎			
		体外循環装置学		90		90	◎	◎	◎		
		体外循環装置学実習		45		45	◎	◎			
医用安全管理学		血液浄化療法装置学		90		90	◎	◎	◎		
		血液浄化療法装置学実習		45		45	◎	◎			
		生体機能代行装置技術学特論			60	60	◎	◎	◎		
医用安全管理学		安全管理学		30		30	◎	◎	◎		
	病院安全管理学		30		30	◎	◎	◎			
	機器安全管理学			30	30	◎	◎	◎			
関連臨床医学	呼吸器学		30		30	◎		◎			
	循環器学		30		30	◎		◎			
	麻酔・集中治療医学			30	30	◎		◎			
	滅菌・消毒学		15		15	◎		◎			
	代謝内分泌系		15		15	◎		◎			
	腎臓泌尿器系	30			30	◎		◎			
臨床実習	一般臨床医学総論			90	90	◎		◎			
	臨床実習			210	210	◎	◎		◎		
外イベント・その他	【学園全体】体育大会						○		○		
	【学園全体】学園祭						○		○		
	【臨床工学科】学科内イベント						○		○		
	【臨床工学科】クラスイベント						○		○		
	ボランティア活動						○		○		

臨床工学科 ディプロマポリシー

1. 医療機器の安全管理と操作に関する知識・技能を習得する。
2. チーム医療における臨床工学技士の役割を理解する。
3. 臨床工学技士国家試験合格に向けた知識を身につける。
4. 医療に貢献する社会性と倫理観をもつ。
5. 臨床現場を支えるプロフェッショナルになる力を身につける。